

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 6 月 19 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (6/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	34.3	106.9 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		給水系：約 3.4 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.3 m ³ /h	47.7	5.75 kPa g	A系:0.34 vol% B系:0.34 vol%
		給水系：約 3.0 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.8 m ³ /h	52.9	0.25 kPa g	A系:0.18 vol% B系:0.17 vol%
		給水系：約 3.8 m ³ /h			

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【3号機】・6/19 12:19 頃 当社社員がタービン建屋1階給水加熱器室入口付近にある原子炉格納容器ガス管理システムの配管において傷が8カ所あり、その部分から音が発生していることを確認。14:40 頃、当該箇所は負圧に維持されており、内包ガスは配管外に漏れている状態ではないことを確認。なお、原子炉格納容器圧力、原子炉格納容器内水素濃度、原子炉格納容器ガス管理システム排気ガス流量において変化は見られていない。応急処置として当該箇所に対してテープによる補修を実施。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (6/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	24.0
2号機	循環冷却システム	運転中	25.6
3号機	循環冷却システム	運転中	24.6
4号機	循環冷却システム	運転中	32

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

【3号機】・5/27 4:01 3号機使用済燃料プールの塩分除去装置にて警報が発生し、塩分除去装置が自動停止。現場を確認したところ、停止による水の漏えい等は発生しておらず、使用済燃料プール冷却系は停止していない。5/28 16:10 原因としては、電気透析装置内の不具合であることが判明したことから、電気透析装置を切り離し、逆浸透膜ユニット単独での運転を開始。原因を調査した結果、電気透析装置における陽極液流量の低下により塩分除去装置が停止したことを確認。その後、陽極側の流量低下原因について調査した結果、析出物による陽極液流路の閉塞によるものと判明。析出物の発生原因としては、電気透析装置の膜の性能が徐々に低下していることによるものと推測しており、析出物の除去を実施。6/15 より電気透析装置を含めた塩分除去装置の試運転を行っていたが、運転状況に問題がないことから、6/19 12:00、本格運転を開始。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	6/16 15:12 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	6/10 8:26 ~ 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋	→	仮設タンク	6/19 10:00 ~ 16:00 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (6/19 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5、6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/6/18 9:54 5号機の補機冷却海水系について、6/18から6/28までの予定でストレーナ駆動部の修理のため、停止。
これにより使用済燃料プール冷却系が停止するため、この期間中、使用済燃料プールの冷却は残留熱除去系により実施。その際、原子炉及び使用済燃料プールの冷却は残留熱除去系により交互に切り替えて実施するが、原子炉水温度は最大 60℃程度、使用済燃料プール水温度は最大 31℃程度と評価しており、温度管理の観点から問題はない。
- ・H24/6/19 10:30 頃 4号機原子炉建屋カバーリング工事に従事していた協力企業作業員1名が、作業中に指を挟まれたため負傷。5・6号機救急医療室で診察したところ、怪我の状況は左手指挫傷(中指、薬指)、右手指裂傷(人差し指、中指、薬指、小指)であり、救急搬送する必要があると判断されたため、11:30、救急車を要請。5・6号機救急医療室で洗浄・消毒の応急処置を施した後、12:10、Jヴィレッジに搬送。その後、12:51、Jヴィレッジから救急車にて総合磐城共立病院へ搬送。現在、病院の医師による診察・治療を実施している。なお、身体に放射性物質の付着はない。

以上